

大型バスで救助訓練

北後志消防組合積丹支署（俵谷支署長・署員17名）は、6月27日、北海道中央バス余市営業所の協力のもと、大型バスを借り上げて救助訓練を行いました。

観光バスの出入りが多くなる時期を迎え、大型バスの有事の際に適確な



▲バスの非常口から救出

救助活動等ができるように、大型バスの構造を学び、車内で動けなくなった人を非常口から救出する訓練など、



▲北海道中央バス職員と消防隊員

普段は行うことのできない貴重な訓練ができました。

俵谷支署長は「限られた人員の中で、いかに安全・確実・迅速な対応ができるかが一番の課題で、連携力や現場対応能力、知識・技術の向上訓練で現場の糧となるよう、今後も団結して訓練に取り組みます。」と話していました。

全道大会で健闘！

「第48回全道消防技術訓練指導会」が7月21日に札幌市で行われ、「ほふく救出」に出場しました。

今回、大会に出場したのは、増山雅志隊員、北上信人隊員、佐々木啓仁隊員の3名で全道の32チームで技術を競いました。

残念ながら全国救助大会の出場はできませんでしたが、1年間の訓練を

通して技術力はもちろん、体力・精神力の向上に役立てることができました。同支署では今後も、町民の皆さんから期待される消防士を目指して、さまざまな訓練に励んでいきます。

北海道観光振興機構から表彰

(一社) 積丹観光協会副会長 杉山 覚さん

北海道観光振興機構の令和元年度観光振興功労者に（一社）積丹観光協会副会長の杉山覚さん（68歳）が選ばれ、6月24日に札幌市内のホテルで表彰式が行われました。

杉山さんは平成7年に同協会理事に就任。平成13年には副会長に就任し、当町の観光振興策に取り組んできました。

特に、平成13年から11年間「どっこい積丹・冬の陣」を開催、平成26年には地元漁師と連携して「どっこい積丹さくらます祭り」を開催するなど、町の通年観光化に尽力されました。

また、海外からの観光客誘致にも取り組み、「ITF台湾国際旅行博」や「TITFタイ国際旅行博」などに積極的に参加し、町の観光資源をPRするなど、当町の観光振興に大きく貢献され、今も活躍されています。



まちの日記帳



町老人クラブGB愛好会が健闘！ 第38回ゲートボール大会

7/2

後志地区老人クラブ連合会主催による第38回ゲートボール大会が積丹町ふれあいゲートボール広場で行われ、後志各地区から14チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

当町からは、積丹町老人クラブGB愛好会Aチーム（新井田明見代表）5名とBチーム（熊本和子代表）5名の2チームが出場し、Aチームが3位、Bチームが4位と好成績を残しました。

日頃の練習で培った技術やチームワークを発揮し、2チームとも予選リーグを1位で通過、決勝トーナメントへ進出しました。

決勝トーナメントでは2チームとも準決勝で惜しくも敗退。3位決定戦では当町同士の対戦となり、僅差でAチームが勝利を納め、3位入賞となりました。



大会出場メンバー（順不同）

【Aチーム】

新井田 明見さん
岡崎 一美さん
戸来 幸彦さん
田中 フミ子さん
福井 久美子さん

【Bチーム】

熊本 和子さん
澤田 榮子さん
原田 京子さん
笹山 ムツ子さん
丹場 俊子さん

ゴムバンドで筋力アップを いきいきクラブ

7/16

高齢者のための運動教室「いきいきクラブ」が、国保診療所併設の農林漁業者センターで行われ、20人が参加しました。

仁木町在住の健康運動指導士 岸本和歌氏を講師に迎えて、「トイレが我慢できなくなるから水を飲まない」という方のために、膀胱周囲の筋力がアップするための運動を紹介し、『日常的に水分補給は重要』であることの説明がありました。

また、「教室前に時間があつたから、浜を散歩してきた」という方もおり、教室に参加することによって、日常生活の活動が増えている様子も伺えました。

毎回、初参加の方も数名ずつ増えており、笑い声の絶えない楽しい1時間を過ごしました。

